

2010年3月期 第2四半期

# 決算の概要

2009年11月5日

日本ユニシス株式会社  
代表取締役副社長執行役員

白鳥 恵治

---

## 2010年3月期 第2四半期 連結経営成績

- 減収に伴う売上総利益の減少により、営業利益は前年同期比▲27億15百万円の減益
- 投資有価証券評価損(▲6億52百万円)を特別損失として計上したことなどにより、四半期純利益は前年同期比▲19億6百万円の減益

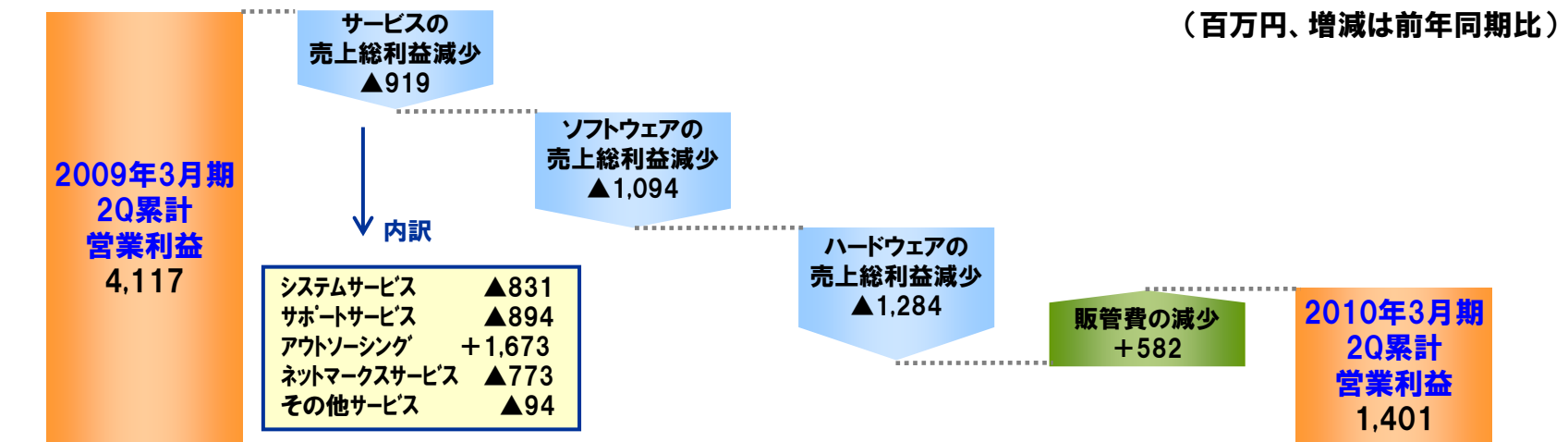
(百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計		2010年3月期 第2四半期累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	146,890	—	125,869	—	▲21,021	▲14.3%
売上総利益	36,360	24.8%	33,062	26.3%	▲3,298	▲9.1%
販管費	32,242	21.9%	31,660	25.2%	▲582	▲1.8%
営業利益	4,117	2.8%	1,401	1.1%	▲2,715	▲66.0%
経常利益	3,844	2.6%	1,266	1.0%	▲2,577	▲67.0%
四半期純利益 (▲は当期純損失)	1,668	1.1%	▲237	—	▲1,906	—

# 売上区別の状況と営業利益の分解図

(百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計			2010年3月期 第2四半期累計			増減		
	売上高	売上総利益	利益率	売上高	売上総利益	利益率	売上高	売上総利益	利益率
サービス	108,923	24,674	22.7%	96,376	23,754	24.6%	▲12,546	▲919	+2.0pt
ソフトウェア	15,187	5,139	33.8%	12,732	4,045	31.8%	▲2,455	▲1,094	▲2.1pt
ハードウェア	22,779	6,546	28.7%	16,760	5,261	31.4%	▲6,019	▲1,284	+2.7pt
合計	146,890	36,360	24.8%	125,869	33,062	26.3%	▲21,021	▲3,298	+1.5pt
販管費		32,242			31,660			▲582	
営業利益		4,117			1,401			▲2,715	



## キャッシュ・フローおよびバランスシートの状況

- フリー・キャッシュ・フローは、30億56百万円のポジティブ
- 借入金の減少により有利子負債を▲82億71百万円圧縮

(百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計	2010年3月期 第2四半期累計	増減額
営業キャッシュ・フロー	19,380	9,246	▲10,134
投資キャッシュ・フロー	▲8,005	▲6,190	1,815
フリー・キャッシュ・フロー	11,375	3,056	▲8,318

(百万円)

	2009年3月末	2009年9月末	増減額
総資産	233,546	212,243	▲21,302
負債	158,081	138,231	▲19,849
純資産	75,464	74,012	▲1,452
有利子負債	90,526	82,255	▲8,271
(純有利子負債)	(54,380)	(52,296)	(▲2,083)

※純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び預金

# 2010年3月期業績見通し

(百万円)

	2009年3月期		2010年3月期 見通し		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	310,127	100.0%	300,000	100.0%	▲10,127	▲3.3%
売上総利益	80,109	25.8%	80,300	26.8%	190	0.2%
販管費	64,225	20.7%	64,300	21.4%	74	0.1%
営業利益	15,883	5.1%	16,000	5.3%	116	0.7%
経常利益	15,116	4.9%	15,500	5.2%	383	2.5%
当期純利益 (▲は当期純損失)	▲8,819	▲2.8%	7,600	2.5%	16,419	—

(百万円)

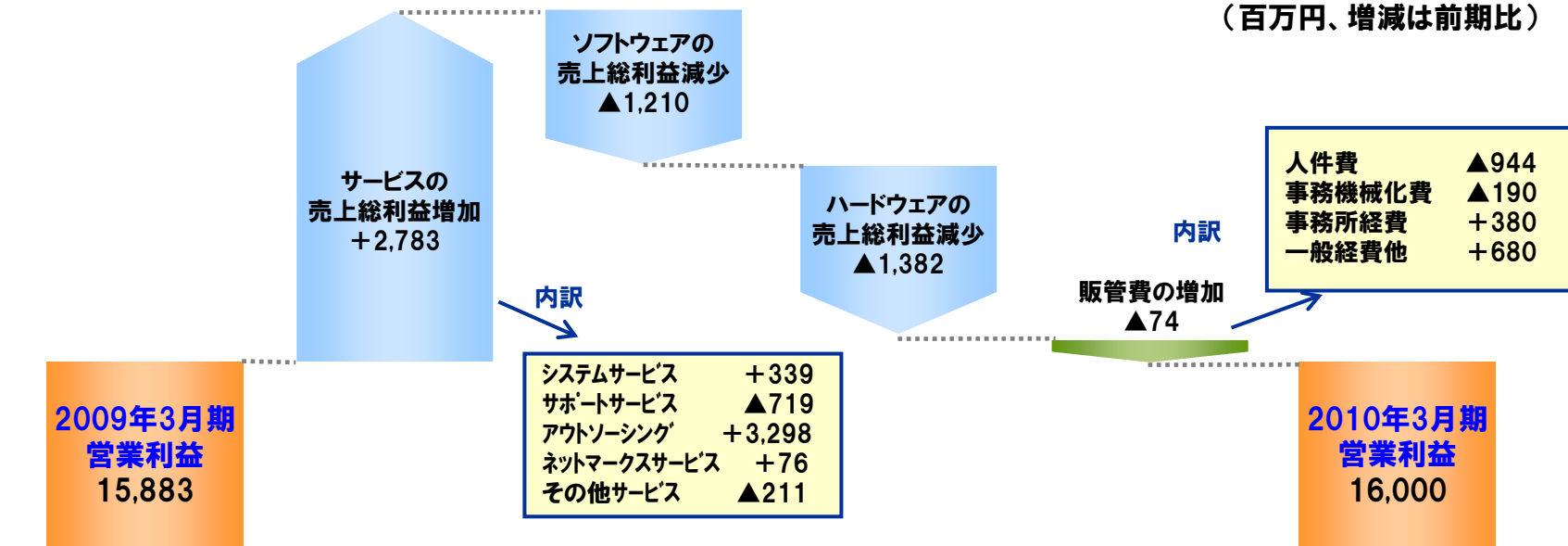
	2009年3月期	2010年3月期 見通し	増減額
営業キャッシュ・フロー	46,299	28,000	▲18,299
投資キャッシュ・フロー	▲20,247	▲16,000	4,247
フリー・キャッシュ・フロー	26,051	12,000	▲14,051
有利子負債 (純有利子負債)	90,526 (54,380)	69,740 (44,153)	▲20,785 (▲10,227)

# 売上区分別の見通しと営業利益予想の分解図

(百万円)

	2009年3月期			2010年3月期 見通し			増減		
	売上高	売上総利益	利益率	売上高	売上総利益	利益率	売上高	売上総利益	利益率
サービス	231,917	56,416	24.3%	231,600	59,200	25.6%	▲317	2,783	1.2pt
ソフトウェア	32,207	10,810	33.6%	29,400	9,600	32.7%	▲2,807	▲1,210	▲0.9pt
ハードウェア	46,001	12,882	28.0%	39,000	11,500	29.5%	▲7,001	▲1,382	1.5pt
合計	310,127	80,109	25.8%	300,000	80,300	26.8%	▲10,127	190	0.9pt
販管費		64,225			64,300			74	
営業利益		15,883			16,000			116	

(百万円、増減は前期比)



2010年3月期 第2四半期

成長計画2009-2010の進捗

2009年11月5日

日本ユニシス株式会社

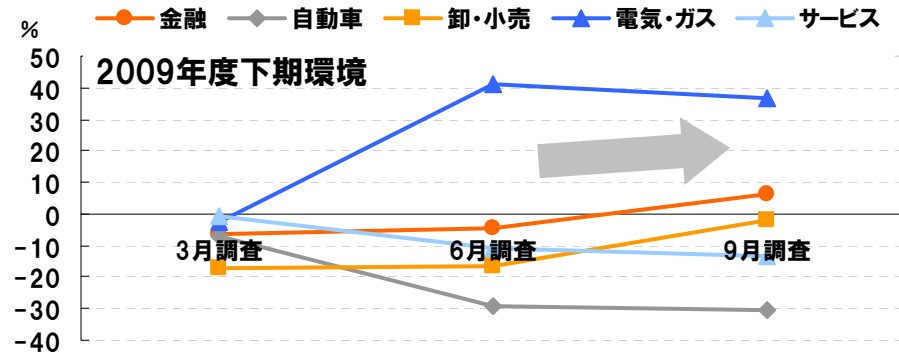
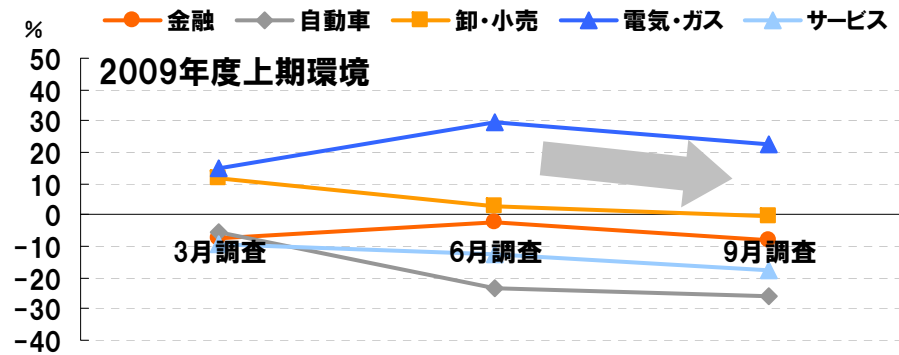
代表取締役社長

靱井勝人

---

# 企業のソフトウェア投資は期初時点より悪化するも、下期はやや改善の兆し

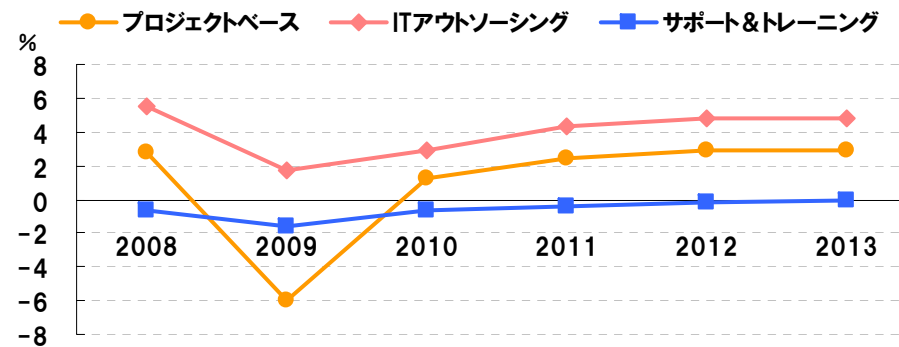
【企業のソフトウェア投資計画 前年同期比】



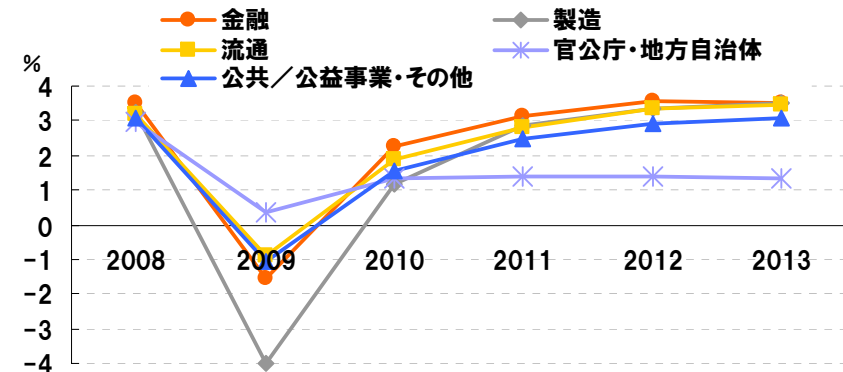
出所:日銀短観 ソフトウェア投資計画(大企業、金融機関)より抜粋

# 2009年度に急激に落ち込んだITサービス市場は2010年度から穏やかな回復へ

【ITサービス市場(セグメント別) 前年比】



【ITサービス市場(業種別) 前年比】

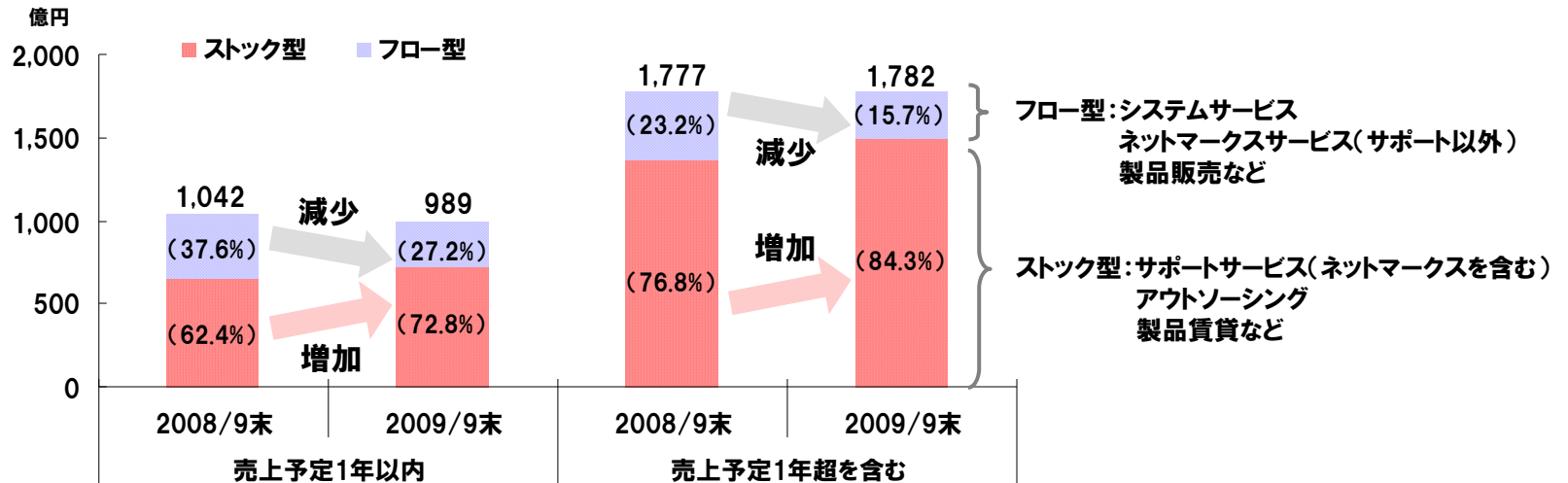


出所:IDC Japan, 2009年8月「国内ITサービス市場 産業分野別2008年の分析と2009年~2013年の予測:2009年上半期アップデート」(J9300105)を当社区分に変更



# 当社のビジネスモデルはフロー中心からストック(安定収益)拡大への変遷期

【受注残 前年同期比】 \*カッコ内は構成比



## 成長計画2009-2010の重点施策

### 「企業体質のさらなる強化」

- ✓ サービス品質の向上
- ✓ コスト構造改革
- ✓ 営業力強化

厳しい環境下でも利益を確保

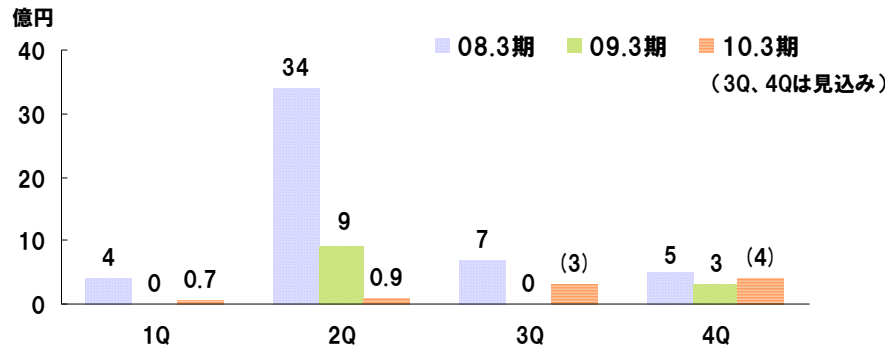
### 「ICTサービスの本格展開」

- ✓ S-BITS構造改革
- ✓ 案件発掘～受注獲得へ
- ✓ ICTサービスメニュー拡充

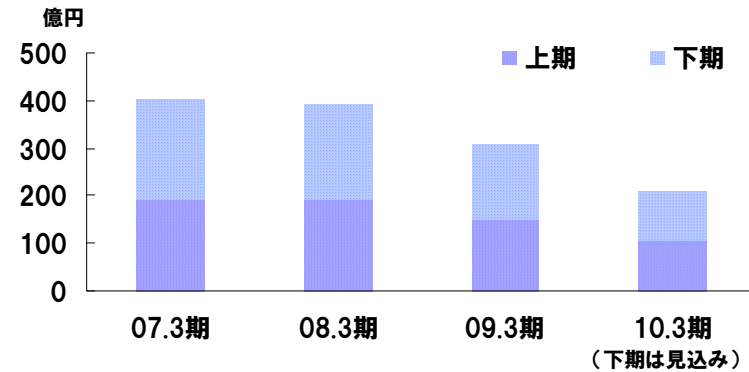
中長期成長に向けた安定収益拡大

# 品質管理の強化等により、不採算抑制とサービス利益率を向上

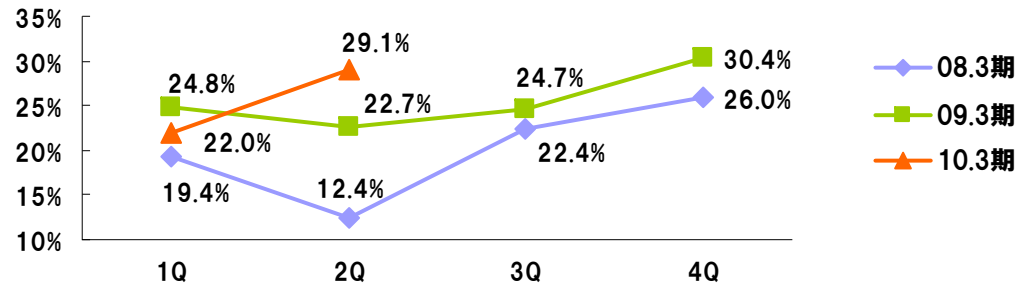
【不採算額 四半期推移】



【システムサービス 外部委託費用推移】

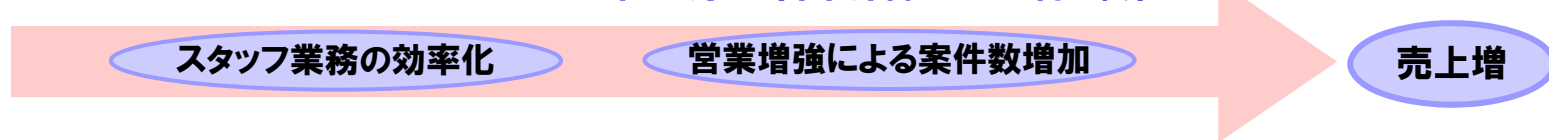


【システムサービス売上総利益率 四半期推移】

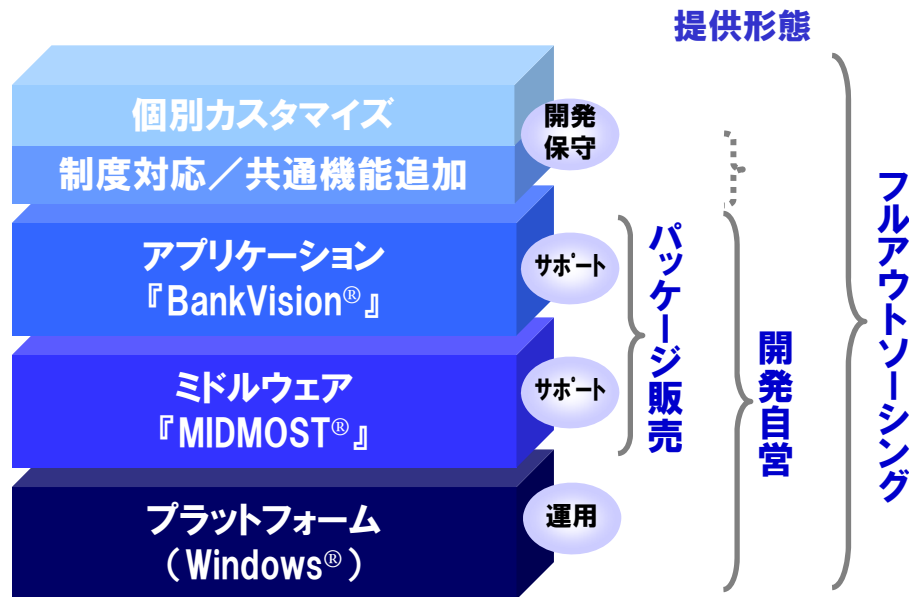


## スタッフから営業への人材シフトにより、販売体制(営業力)をさらに強化

2009年10月 営業部隊に107名を職種シフト



# S-BITSの構造改革を着実に推進し、『BankVision®』拡販へ



✓フルアウトソーシング、開発自営やパッケージ販売などサービス提供形態を多様化

⇒商談機会の増加

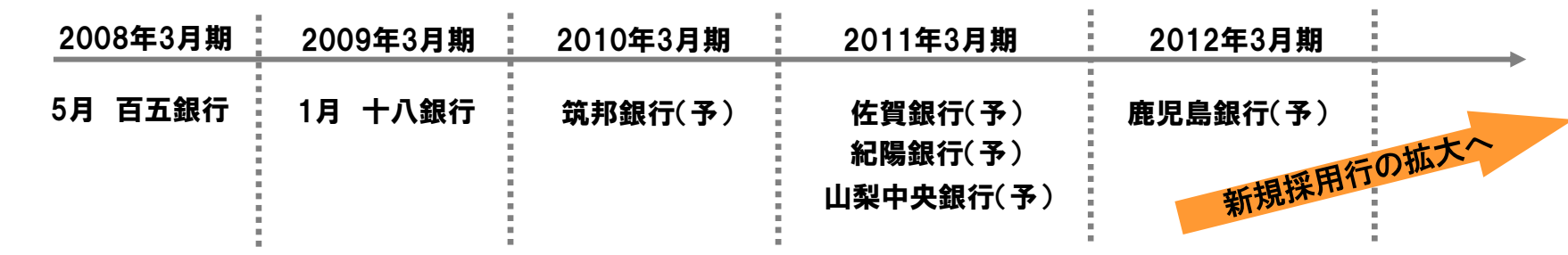
✓『BankVision®』の適用効率化対応(コンパクト化)によりターゲット行を拡大

⇒開発(改造)は順調

✓S-BITS共同アウトソーシングのコスト効率化

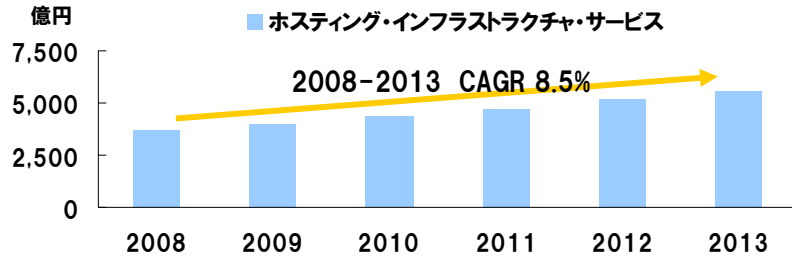
⇒参加行の順次稼動(順調)

## 【稼働スケジュール】



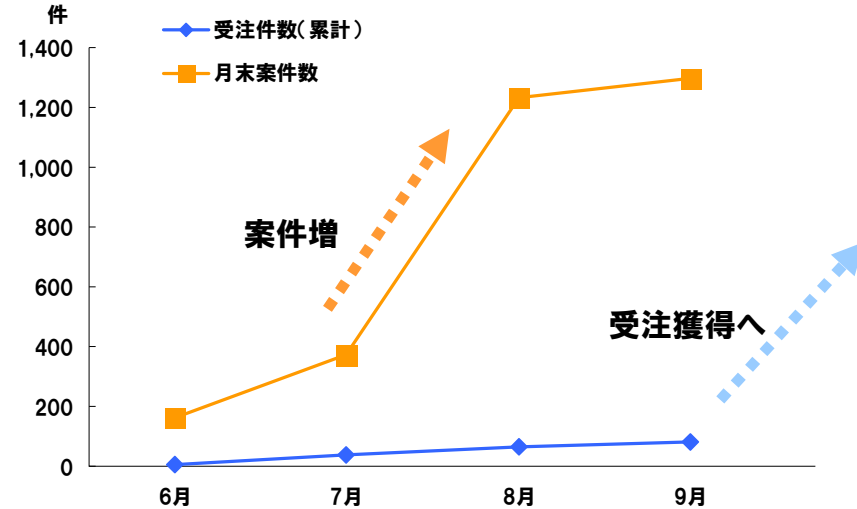
# 高成長が見込まれるICTサービスに早期参入、案件発掘～今後の受注拡大へ

【市場成長率予測】

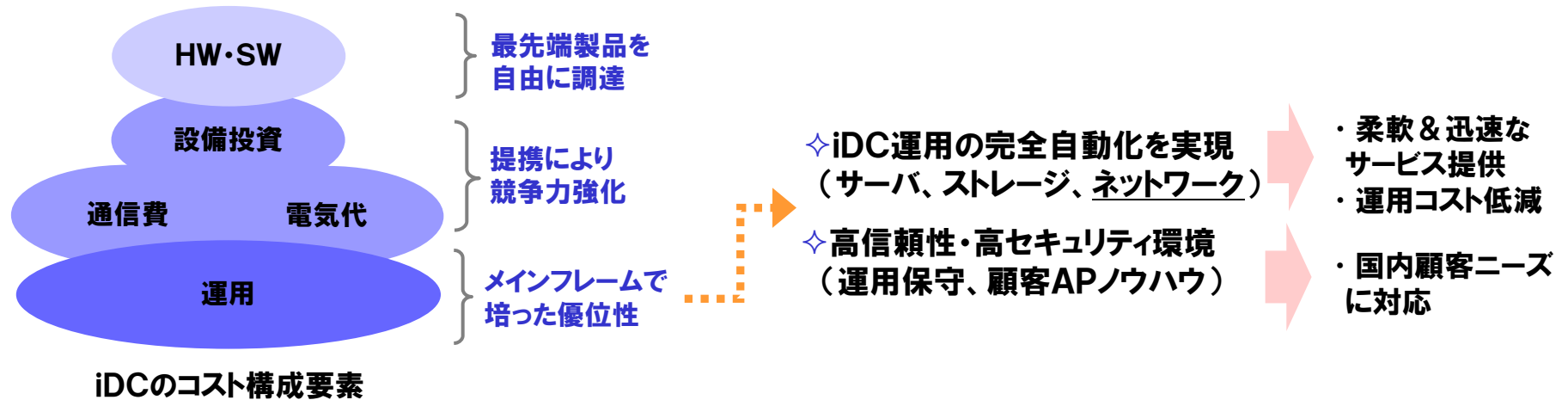


出所: IDC Japan, 2009年8月「国内ITサービス市場 産業分野別2008年の分析と2009年～2013年の予測: 2009年上半期アップデート」(J9300105)

【ICT案件状況 月次推移】

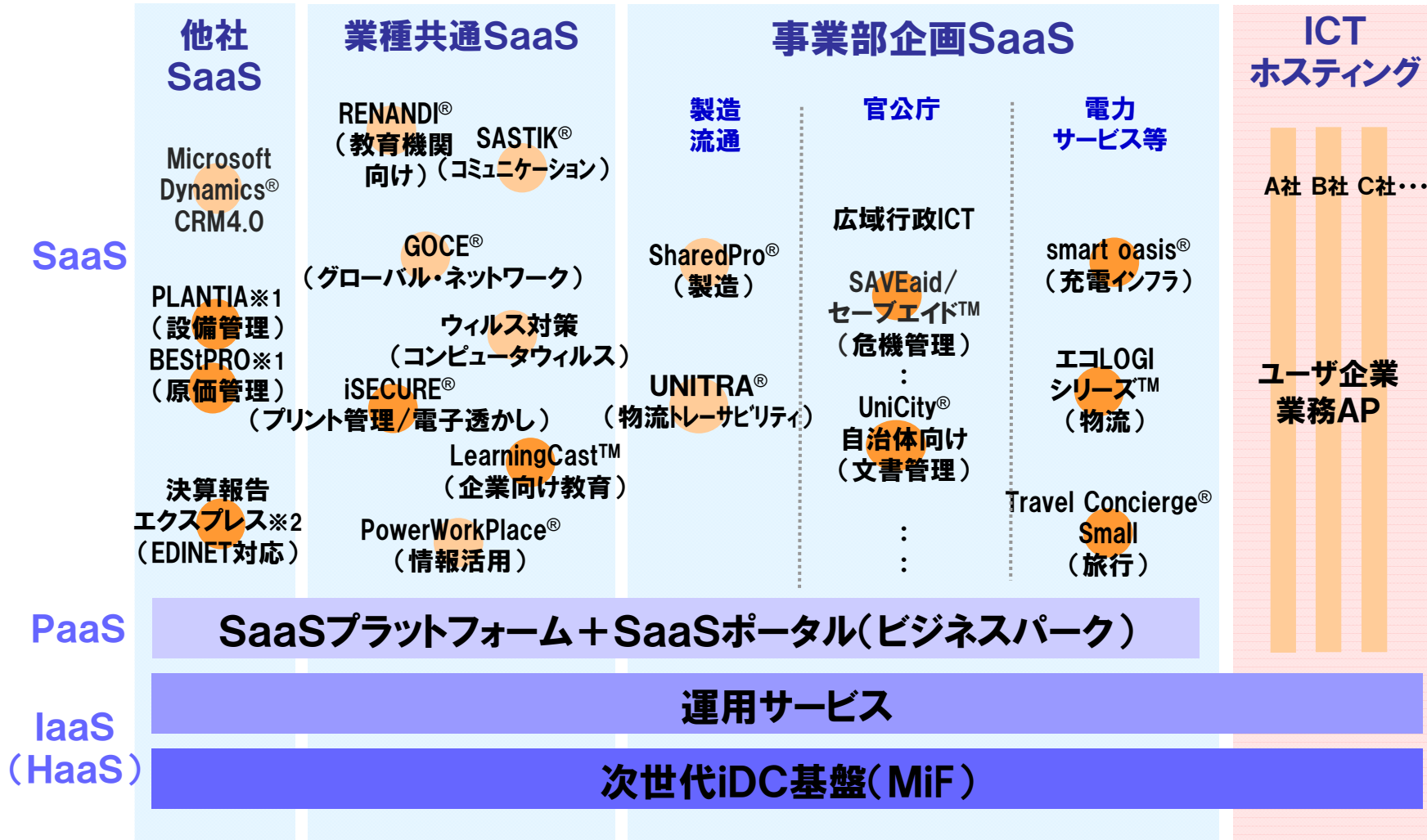


## 「自動化・仮想化・統合化」を実現したMiF<sup>®</sup>(クラウド型IT基盤)で業界をリード



# 高品質なICT基盤上でICTサービスメニュー(SaaS、PaaS)を拡充

● : 既存メニュー      ● : 今期サービス開始の新メニュー



※1 PLANTIA、BESTPROは日揮情報システム株式会社が提供しています。  
 ※2 決算報告エクスプレスは株式会社スリー・シー・コンサルティングの商品です。

SaaSメニューは抜粋

# U&U

Users & Unisys

# UNISYS

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。  
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。